



三好

くまむら議会だより

111号
2023.11.27

渡「城山」を望む

もくじ

9月定例会	2
第8回臨時会	6
一般質問	7
編集後記	12

令和4年度一般会計「歳出」

決算額は、約68億7千万円

9月定例会

第7回定例会が、9月5日から14日までの10日間の日程で開催されました。

初日は、6月定例会以降の諸般の

報告、例月出納検査結果報告、一部事務組合の報告を行い、続いて、

日隠啓一代表監査委員より、令和4年度財政健全化判断比率及び資金不足比率について報告がありました。

その後、認定5件、議案5件、同意2件が上程されました。

議会では、監査委員の報告を受け決算審査特別委員会を設置し、

2日間にわたり、各課から令和4年度成果報告書に基づき説明を受けました。審査の結果、全員一致で原案の通り認定すべきと決定しました。

一般質問は5名の議員が通告書に基づき登壇し質問を行いました。

【認定】

○令和4年度球磨村一般会計決算の認定

○令和4年度球磨村国民健康保険特別会計決算の認定

○令和4年度球磨村後期高齢者医療特別会計決算の認定

○令和4年度球磨村介護保険特別会計決算の認定

○令和4年度球磨村簡易水道特別会計決算の認定

(各会計の決算額は5頁のとおり)

【契約】

○工事請負変更契約の締結について(村道毎床線道路災害復旧工事)

【条例】

○球磨村長等の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定について

○球磨村議会議員及び球磨村長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例の制定について

【協定】

○球磨村管内宅地かさ上げ事業の施行に関する国との協定の締結について

【同意】

○球磨村監査委員の選任同意
日隠 啓一 氏(一勝地)
○球磨村教育委員の選任同意
大岩 幸吉 氏(神瀬)

【選挙管理委員会の選挙】

任期満了に伴う地方自治法の規定に基づき、議会での指名推薦による選挙を行い、次の方を当選人と決めました。

伊高 寛 氏(渡)

柳詰 明 氏(一勝地)

那良 茂 氏(三ヶ浦)

上郡 修 氏(神瀬)

【発議】

○会計年度任用職員の処遇改善を求める意見書の提出について

原案を可決し、国会議員へ意見書を提出しました。

○球磨村義務教育学校建設に関する特別委員会設置に関する決議について

9月定例会 審議した議案等とその結果

議案番号	件名	結果	賛成	反対
報告第8号	令和4年度財政健全化判断比率及び資金不足比率について	報告	9	0
認定第1号	令和4年度球磨村一般会計決算の認定について	原案認定	9	0
認定第2号	令和4年度球磨村国民健康保険特別会計決算の認定について	原案認定	9	0
認定第3号	令和4年度球磨村後期高齢者医療特別会計決算の認定について	原案認定	9	0
認定第4号	令和4年度球磨村介護保険特別会計決算の認定について	原案認定	9	0
認定第5号	令和4年度球磨村簡易水道特別会計決算の認定について	原案認定	9	0
議案第50号	工事請負変更契約の締結について	原案可決	9	0
議案第51号	球磨村長等の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定について※	原案否決	0	9
議案第52号	球磨村議会議員及び球磨村長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	9	0
議案第53号	令和5年度球磨村一般会計補正予算について	原案可決	9	0
議案第54号	令和5年度球磨村介護保険特別会計補正予算について	原案可決	9	0
同意第10号	球磨村監査委員の選任同意について	原案同意	9	0
同意第11号	球磨村教育委員会委員の選任同意について	原案同意	9	0
追加日程				
議案第55号	球磨村管内宅地かさ上げ事業の施行に関する国との協定の締結について	原案可決	9	0
議案第56号	球磨村長等の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定について※	原案可決	9	0
発議第3号	会計年度任用職員の処遇改善を求める意見書の提出について	原案可決	9	0
発議第4号	球磨村義務教育学校建設に関する特別委員会設置に関する決議について	原案可決	9	0

※議案第56号については、議案第51号の否決を受け、内容を変更して追加上程され可決 (採決の人数は、議長を除く9名)

どなたでも傍聴できます。

9月定例会の傍聴人数は延べ28人でした。

※会議録は「球磨村ホームページ」→「行政情報」→「球磨村議会」→「会議録(一覧ページ)」で閲覧できます。

令和4年度一般会計及び特別会計の決算額

	歳入額	歳出額
一般会計	81億8,665万2千円	68億7,082万4千円
国民健康保険特別会計	6億18万円	5億2,413万3千円
後期高齢者医療特別会計	5,550万8千円	5,528万5千円
介護保険特別会計	7億3,070万8千円	6億7,142万8千円
簡易水道特別会計	1億3,020万3千円	8,735万4千円
合計	97億325万1千円	82億902万4千円

※千円以下は端数調整をしていますのでご了承ください。

令和4年度一般会計及び特別会計決算を認定

～決算審査特別委員会で審議～

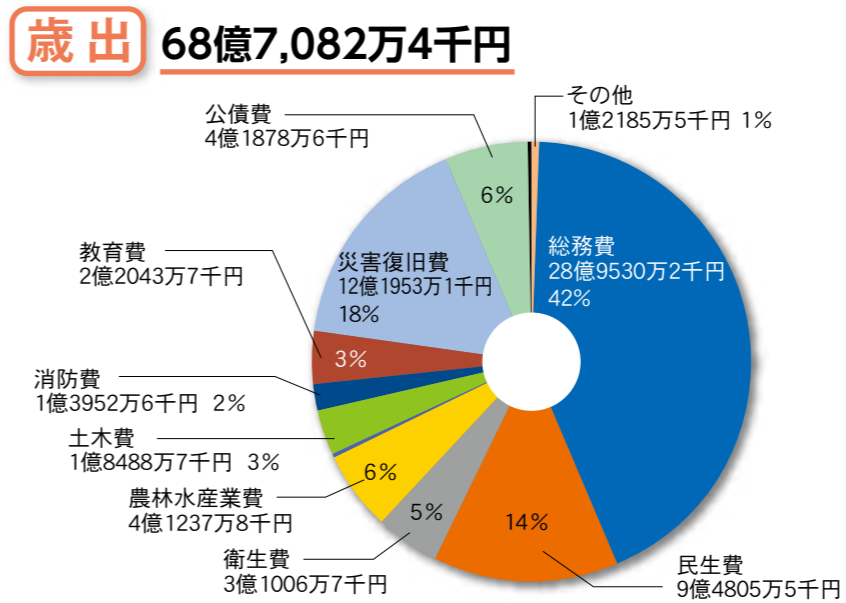
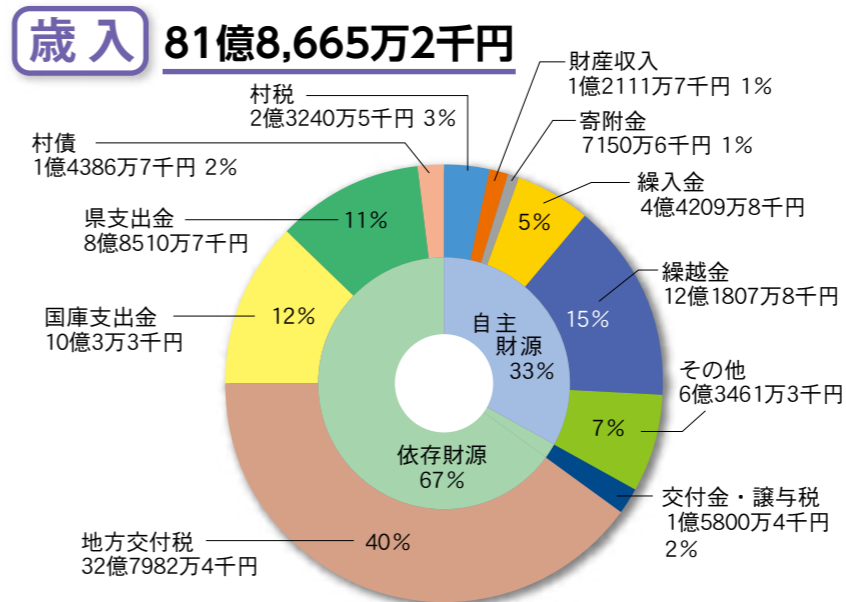
令和4年度一般会計及び特別会計の決算について、日隠啓一代表監査委員より決算審査の報告を受け、議会に認定のため決算審査特別委員会を設置し審議しました。

審査日程については、9月5日に正副委員長を選任し、6日及び7日に、執行部関係者から説明を受け審議にあたり、本会議の審議において認定することに全員一致で可決しました。

また、審査の中で委員から、予算の執行で終わるのではなく、事業を実施し目的に対しどのような成果が上がったことを検証することが重要。決算審査及び議会決算審査特別委員会で質問や意見に、しっかり協議し今後の成果に結びつけてほしいと意見が出されました。

令和4年度球磨村一般会計決算の内訳（左図）

令和4年度一般会計決算における歳入財源の比率は、村税等からなる自主財源が約33%、国・県支出金等の依存財源は約67%となっています。
歳出決算額は、前年度に比べ約30億2,607万円減少しており、主要な要因は令和2年7月豪雨災害に伴う災害廃棄物処理や家屋解体等の事業完了によるものですが、依然として支出の中で復旧・復興に係る事業費の占める割合が高くなっています。



決算審査特別委員会委員長報告

嶽本 孝司 委員長

歳入について

1 健全な財政運営を図るためには、自主財源の確保が重要であり、ふるさと納税など貴重な財源については、増額につながる取り組みを行うこと。

2 公平・公正な観点から、税、使用料など安易に不納欠損処理をすることなく、催告状の発送や分納誓約、新たな徴収方法を図るなど適正に実施し、納付意欲の低下にならないよう努めること。

3 交付税の重要な基礎算定には人口数が大きく左右される。いかに人口減少を緩やかにし、歯止めをかけるか、総合的な財源確保に努めること。

歳出について

1 一般会計では、令和4年度においても、豪雨災害や新型コロナウイルス感染症に関連する

予算が増加しているが、実施した事業の数値的な効果、使途の検証がなされていない。現状を把握し、どのような効果があったのか、精査を行い、成果を数値化できるように努めること。

2 限られた予算の中で、予算の積算も含め十分に把握し、適正な執行に努め、その事業がどう振興策に繋がっていくのか、検討をすること。

国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険特別会計においては、健康増進事業に尽力されている。今後も、財政状況との関連も含め、各特別会計事業が連携、連動し、高齢者のいきがいづくりや健康教室、介護予防事業により、健康寿命が延びるよう更なる事業の推進を図ること。

簡易水道特別会計では、本来、公営企業として独立採算制が原則であるが、人口が減少する中、料金改定が喫緊の課題である。料金改定の必要性、時期も検討しながら、持続的な簡易水道事業に努め、加入者への丁寧な説明を行うこと。

最後に、令和2年7月豪雨災害から3年が経過し、今後、本格的な復興が進む中、一つひとつの事業を再度見直し、適正な予算の執行をお願いします。

災害公営住宅や宅地分譲により、生活再建に一応の成果が見えて一方、依然として仮設住宅等で生活をされている被災者の方もおられることから、早急に生活再建への安心が図られるよう、親切に丁寧な情報の提供をお願いします。

職員におかれましても、通常業務に加え、復旧復興に向かう関連業務が増え、大変であることは承知していますが、一つひとつの事業の効果が目的につながっているか検証を行い、庁内での連携を図り、取り組まれるようお願いします。

結びに、健康があって復旧復興が成しえると思います。村民の健康維持と併せて職員各位の健康の維持にも努めてください。球磨村の早期復旧と創造的復興のため、尽力いただくことをお願いし委員長報告とします。

第8回臨時議会を開催

令和5年第8回臨時議会を10月4日に開催し、議案約2件を可決しました。

【契約】

①工事請負契約の締結について

亀割川河川災害復旧工事について、契約金額7千656万円での請負契約締結を原案のとおり可決。



河川護岸が被災した亀割川

②工事請負契約の締結について

茂呂葉頭首工災害復旧工事について、契約金額7千920万円での請負契約締結を原案のとおり可決。



被災した茂呂葉頭首工

議会活性化特別委員会

9月8日、議会活性化特別委員会（委員長：嶽本孝司）が開催されました。

主な議題としましては、定数削減を含めた「適正な議員定数」について、近隣市町村で取組が進められている議会審議におけるペーパーレス化や事務の軽減、業務効率化などを図るため「タブレット端末」の導入に関して協議を行いました。

今後、「適正な議員定数」については、公表時期、手続き等、しっかりと協議を重ね村民の皆様にお知らせすること、「タブレット端末」の導入については、実現した場合の効果、業務効率の改善、コスト面等を検証しながら取り組んでいくということが決定されました。

球磨村義務教育学校建設に関する特別委員会を設置

令和5年9月14日、第7回定例会において、議員発議により球磨村義務教育学校建設に関する特別委員会（委員長：田代利一）を設置しました。

令和6年4月、球磨村義務教育学校「球磨清流学園」が開校いたします。

義務教育学校の建設については、開校にあたっての分離型校舎の改修工事、更には一体型校舎建設の問題等、議会としても今後の進め方を注視し、協議していく必要があると考えています。

今後は「球磨村義務教育学校建設に関する特別委員会」において、調査、検討を行ってまいります。

残すところ村長の任期もあと半年余り。2期目は？

田代 利一 議員



答

コロナ、豪雨災害に対応し、引き続き復旧復興と人口減少対策に決意

問 明るい話題として、来年度から分離型ではあるが義務教育学校がスタートする。分離型より一体型の方がより教育環境が充実していることから近い将来一体型の学校建設が望まれるが。

村長 6月臨時会において運動公園内への建設に関する関連予算が賛成少数で否決された。執行部として議会の判断を重く受け止めている。村では、現在令和6年度に予定されている一勝地小・球磨中等既存の施設を活用した分離型の開校に向けた準備を進めている。

問 開校における課題は。

教育課長 当分の間は施設分離型の校舎でスタートする。基本的に一勝地小学校に1年生から4年生まで、球磨中学校に5年生から9年生まで入って学ぶ計画としている。特に、長年使用されていない球磨中学校の空き教室をはじめ、

様々な改修工事が必要となる。今回、村有施設整備基金を財源とする改修工事に伴う設計費用を計上している。



現在の球磨中学校玄関

問 保護者説明会で上がってきたランドセルあるいは制服への支援は。

教育課長 各部会においてできるだけよいようにということで検討されている。今回、補助をするというときに、

今年1年だけいいのかという問題が出てくる。継続的にやっていくということであればしっかりと議論が必要である。上がった内容をしつかり精査し、検討して行きたい。

問 分離型義務教育学校の課題、解決策は。

教育課長 校舎間の行き来の時間的回避する必要がある。職員室が分かれることにより教職員の意思の疎通と児童生徒の見守りについて定期的に全職員会議を実施し情報共有の徹底を図っていく。

問 (一体型の建設にあたり) A案を否決した。B案C案を出されたが。

村長 議員や住民の意見等も踏まえ、総合的に判断して今回A案を示した。

問 何のためのA案か。B案C案も出していたでしょう。

村長 今すぐ渡に造るとは考えていないが、将来的な村づくりを考えたとき、防災拠点、避難

所とかで使いたいと考えている。

問 子どもが減っていく中で、今すぐ一体型を造れとは言えない。

村長 将来的に、一体型を一勝地に造りましょうということはある言葉は言えない。

問 来年度開校の球磨清流学園に対する村長の所感は。

村長 教育委員会と各学校、保護者、地域が協力し、一体となって準備を進め、子どもたち及び保護者が安心して開校を迎えられるよう努める。

問 残すところ村長の任期もあと半年余りとなりました。2期目に出馬されるかどうか。

村長 この次の4年間しっかりと分かち合いながら球磨村の村政に携わっていきなさいという決意をした。今後またみなさんとともに4年間頑張っていけるように、これからまたしっかりと頑張っていきたい。

復興計画「命を守る道路ネットワークの確保」災害検証に基づき、どう反映しているか 永椎樹一郎議員



復旧、復興対策等の迅速かつ円滑な実施のため、有事の際には避難路となる道路網の整備を進めていく

災害に強いネットワークの確保、集落間を結び生活道路、有事の際、集落と集落が孤立しない道路網の整備が必要。

やはり早めの避難で孤立しない、被災しないということを考えている。既存の被災した道路の強化、災害を受けても被災しない道路を検討していく。



「命を守る道路ネットワーク」避難路の確保【渡桜峰】

「セキソの地蔵」付近の県道が冠水した場合、一勝地駅敷地の管理道路を、緊急時、通行できるようにする考えは。

友尻地区の高上げ事業が進められる中で、有事の際の避難路として活用させていただくよう、現在、国とJRとの協議が行われている。

球磨川流域治水の推進、流域治水プロジェクト「高上げ事業」「遊水池事業」「引堤事業」等が進められているが、今後の「遊水池」の活用はどう考えているのか。

遊水池の活用については、基本的な考えとして従前の運動公園の機能維持を基本とし、遊水池内に遊水池公園、野球場やゴルフ等のスポーツ振興の場としての活用を想定している。

球磨川流域治水の推進、流域治水プロジェクト「高上げ事業」「遊水池事業」「引堤事業」等が進められているが、今後の「遊水池」の活用はどう考えているのか。

渡ブランド仮設団地、今後「集約」が進み、最終的な「すまい」の確保ができた時、今ある運動公園の活用は。

ブランド内にある仮設住宅は、一定数は残す予定。その後の残った山側の部分は、今後しっかりとした村の方向性、次の計画に反映していく。

地域再生に合わせた自主防災活動の促進、円滑な避難体制、村が目指す「防災」の在り方につながる施策とは。

自らの命は自らが守るという防災の基本理念に基づき、自助、共助による防災体制の構築。地域の活性化と連帯感に基づく自主防災組織の充実、強化、防災訓練等、各種施策を計画的に推進していく。

自主防災組織の促進、集落単位、班単位だけではなく、行政区、分館単位等、広域的な防災体制、組織の考えは。今のところ、集落単位で自主防災組織が編成されている。今後、地形的なものもあるが、

近隣の集落等での組織活動ができるということであれば検討していかねばならない。

消防団詰所の復旧支援、現在の消防団詰所の整備、進捗状況は。

消防団詰所については、豪雨災害により格納庫も含め11箇所が被災した。早急に整備を進める必要があるが、災害復旧工事の絡み、高上げ事業の対象地区では移転の検討も必要である。消防幹部会での要望も聞きながら整備を進めていく。

消防団員の減少による定数の見直し、将来分団再編あたりも考えていかなければならないと思うが。

消防団幹部会において、今後、定数の削減、定数の見直し等、協議がなされると思うが、他にも、消防団OBの活用ができないか等意見が出ているところである。今後、消防団OBを予備消防団員として活用できないか仕組みづくりを検討している。

交流人口増加を図るためには

宮本 宣彦 議員



他地域との差別化に繋がる魅力や観光資源を磨き上げることが大切だ

令和2年7月豪雨災害後の急激な人口減少の要因は。被災された方々の自宅再建のタイムリミットや復興のスケジュールに対し、村が復興を進めているスケジュールとの差で人口減少となっている。

今後、どのように対策を取るのか。

村だけでなく、国、県に支援をいただきながら復興を進めているが、被災された方たちはどうしても待ちきれない状況の中で、村外に住まいを求められた方が多くなったと思われる。ハード面はすすんでできるものではないが、今からできることをしっかりと取り組んでいかなければならない。

転出された方々の構成、特に子育て世代の方と高齢者世帯

の方々の転出が多いと思われるが。

令和2年7月と令和5年6月と比較し、子育て世代が271人減少、高齢者は亡くなる方も含め131人と多い。一番多いのは、やっぱり子育て世代の42%減少である。

将来の計画についてももっとPRし、皆さん方が帰ってきてもらえるような施策が必要では。

村外に家造ったり購入したりして転出された方がたくさんおられるが、借家住まいされている方々などには情報発信をしながら、1日でも早く早急に事業を完成させていくことが求められている。

商店が無くて買い物ができない状況にある。買い物支援など住んで生活しやすいような環境を

創ることを進めてもらいたいが。

業者側にすれば採算が取れないとなかなか進出できないというところがある。今後の村づくりを考えたとき、住民が集中する所に商店等が出てくると思うので、まちづくりの中で計画を創りしっかりと取り組んでいく。

総合運動公園の仮設住宅について、今後進められる地区の高上げ工事等での仮住まい住宅として確保できないのか。

県からの譲渡が終了した後であれば利用は可能だ。移転できるような場所があれば、移転して公営住宅として使うことは可能と考えている。

交流人口増加を図る施策と観光振興は。

昨年来、球磨洞とラフティングが再開し、にぎわいを見せ始めている。そして、一勝地交流センター「かわせみ」が9月16日にリニューアルオープンし、ようやく球磨村の観光分野の復興・復活への道筋が見えてきた。球磨村の認知度の向上と観光地としてのイメージアップを目的として、

多角的なPRを推進していく必要がある。



リニューアルオープンした一勝地交流センター「かわせみ」

有害獣が畑や家の周辺まで出てきて農産物などに被害ネットを張るようなことに対し補助はできないのか。

産業振興対策補助で、農作物に関する補助金や捕獲ワナ、防護柵等の補助は行なっているが、耕作放棄地等のやぶ払いの補助はない。

共助のむらづくり支援事業補助金交付要綱を定めており、生活環境整備として地域での草払いと清掃活動に使われている。駆除に関するワナが生活環境整備に該当するのであれば申請は妨げない。

一勝地に施設一体型校舎を建設した場合
莫大な費用がかかる理由

板崎 壽一 議員



答 B・C案は球磨中学校を増改築する建設に通常要する費用で、具体的な試算は出ていないが、敷地の嵩上げや建物に設置するピロティなど多額の費用が予想される

問 なぜ、B・C案にそう言う費用は含まれていなかったのか。

あり、嵩上げや、ピロティ、溢水費用が予想される予測の部分であり、しっかりした数字はない。

村長 今回、基本構想のなかで、渡りに建てた場合、球磨中学校を解体、リフォームするという3案はコンサルにお願いして出した数字であり、一勝地に治水対策を講じて、一体型校舎を建てるということをお願いはしていなかったため、敷地の嵩上げや、ピロティの設置に莫大な費用が予想される。

問 しっかりとした数字が出ていないのに、一勝地に一体型校舎を建てられない理由は。

村長 一勝地小学校、球磨中は被災していないが、通学路、通勤路が被災したため、一か月の休校となり、それを解消するために、渡が最適ということで提案をしている。また、嵩上げや、造成工事にかかりの費用がかかると思われるから、その辺は理解を願いたい。

問 治水対策を講じた場合の試算は、A案の46億円をB案の35億円は超えるのか。

村長 議会からの提言書の中にあつたことに対する答えである。

問 どちらにしても一勝地に一体型校舎は建てないのか。

村長 一勝地には建てないと言っていないと思うが、分離型で進めていく中で、一体型校舎の課題が出てきたら、改めてしっかり協議をして議論をして決めたい。

問 村政座談会でのアンケートの答弁で「全て村民の意見に従うことなく、村の将来に関しては全てを村民に任せるようなことではいけない」とはどういうことか。

村長 アンケートの結果で、村政の方向性を決めていくのは本来すべきことではないが、今回、学校に関するアンケートで、村民の意見を聴取し、その意見を基に方向性を検討したいと思っている。アンケートを基に議論をして決めていくのが本質だと思う。

「第6次球磨村総合計画」前期計画の進捗
状況と後期計画の柱は

高澤 康成 議員



答 災害により計画策定時とは大きく変化、復興への取り組みを推進しており、後期計画では、発展につながる計画を策定する

問 復興計画の中で、災害に強く、住民が安全、安心に住み続けられる山里「球磨村」とあるが、山間地域における消防施設の復旧状況および避難路の整備状況は。

村長 災害への対応、住民の命を守るためには、早期避難が最も重要である。村として防災教育を行いながら、19地区に自主防災組織が設置されている。村全体が組織がなくとも、災害時に防災意識を持って行動できる地域を目指す。

問 今後、後期計画の策定が行われるが、その中で「かわせみ」の指定管理における村への還元等についてのビジョンは。

村長 「かわせみ」の運営は、行政を中心に行われてきたが、民間企業のノウハウにより施設の良好な運営、住民サービスの向上、交流人口の増加、収入面の増加等、委託先のトラックセッションには期待をしている。運営計画が少し遅れているが、今後の状況を見守ってみたい。

総務課長 令和2年豪雨災害で消防詰所等、格納庫が11施設被災した。その他の消防施設等についても復旧工事の進捗により整備が必要である。消防署より遠い地域は、緊急に整備が必要であり、早急に対応しなければならぬと考える。また、避難路等の整備は、計画に沿って後期の計画等で進める。

問 令和4年度決算審査の成果報告が各課より行われたが、人口減少が進み、財源の確保が厳しい中、いろんな支援があり成果があった。それぞれの課で新たに取組んだ事業内容は。

- 総務課長** 特に新たな取組みは行っていない。令和2年豪雨災害からの復旧・復興、新型コロナウイルス対策などの事業を中心に事業を進めてきた。
- 復興課長** 昨年度4年ぶりに村のイベントとして「復興祭」を開催した。その他は災害関係の計画全般を引き続き取りまとめる事業を行っている。
- 健康課長** 令和4年度の新たな事業は実施していない。
- 健康課長** 事業内容の見直しを行った。敬老年金の支給方法を改正し、障害者福祉年金を廃止、今後、事業内容を検討中、その他は、子育て支援の出席、子育て応援給付金制度、保健師による相談体制の整備に取り組んでいる。
- 建設課長** 令和2年豪雨災害の復旧事業に取り組みとして昨年度から電子入札の導入準備、今年度から導入を開始することとしている。
- 教育課長** 被災した渡小学校の再建にICT教育関連で全児童生徒へタブレットを配布し、オンライン環



活用方法が検討される渡小学校・千寿園跡地

境を整えた。社会教育において「球磨川リバイバルトレインinショー」を開催、今年度も開催を予定している。

住民課長 税金徴収方法を見直し、訪問徴収から催告と財産調査、徹底した滞納整理に切替え、手軽に納付可能なコンビニ納付等のシステムを導入した。

義務教育学校の一体型校舎建設案

	整備手法	全体事業費
A 案	渡地区 球磨村総合運動公園に校舎を新築	約 46 億円
B 案	一勝地地区 球磨中学校を解体し、校舎を新築	約 35 億円
C 案	一勝地地区 球磨中学校を改修し、増改築	約 27 億円

ここがポイント



くまっこ 一勝地小学校



6年 吐合 心さん

私たちの学級は、個性豊かで明るく、楽しい学級です。男子は休み時間に運動場に行き、サッカーやキャッチボールなどをしてみんな仲良く遊んでいます。女子は教室で楽しい話をしながら笑って過ごしています。たまに男子同士でケンカや言い合いが始まるけれど、すぐに話し合っ仲直りをしています。

6年生は最上級生として、下級生のことを考えたり、色々なことを教えたりして大変だけど、10人で力を合わせてあと半年頑張りたいと思います。

6学年担任 中林 彩華 教諭

本年度の一勝地小学校の6年生は、男子8名・女子2名、計10名です。学級目標である「当たり前のことができる6年生、元気なあいさつができる6年生、思いやりを持って優しくする6年生」を目指して毎日頑張っています。また、今年度は渡小の6年生と一緒に授業を受けることも多く、みんなで協力し、お互いを高め合いながら学習に取り組んでいます。

最上級生であり、一勝地小学校最後の卒業生となる6年生の子どもたちは、一人ひとりが自分に来ることを考えながら、精一杯やり遂げようと頑張っています。卒業まで、そして閉校まで残り半年を切りました。学校のためにできることを考え、「6年間頑張っよかった」という思いで3月の卒業式を迎えてほしいと思います。

編集後記

連日のように「猛暑日」が続いた夏も終わり、朝晩の冷え込み、木々が少しずつ色づく「紅葉」の季節となりましたが、近頃は、暦が変わっても、「ずうーっと」暑い夏が続き、秋の気配を感じたかと思えば、すぐ冬の到来と「四季」の良さが感じられないような気がしています。

村では、今年度「復興計画」と「後期計画」が一本化され策定されます。豪雨災害を検証し、災害に強い村づくり、村民が安全に安心して暮らせる新たな球磨村の創造的復興、村が目指す将来像につながる施策なのか注視しながら、未来に向かって、復興を必ず成し遂げる強い使命、そして、5年後、10年後の「球磨村」がどうなるのか真剣に向き合いながら、危機感をもって、大胆な行政改革、特化した新たな村づくりも必要になってくると考えています。

村民の皆様にとって、「幸せ」そして「村民が一番」を追求し、全力で丁寧に取り組んでいかなければならないと思っています。

永椎 樹一郎

議会広報特別委員会

- | | |
|------|--------|
| 委員長 | 板崎 壽一 |
| 副委員長 | 西林 尚賜 |
| 委員 | 宮本 宣彦 |
| 委員 | 永椎 樹一郎 |

■球磨村世帯数:1,346世帯 ■人口:2,808人 男:1,346人 女:1,462人(令和5年11月1日現在)

発行 熊本県球磨郡球磨村議会
編集 議会広報対策特別委員会

〒869-6401 熊本県球磨郡球磨村大字渡丙1730番地
TEL (0966) 32-1111 FAX (0966) 32-1230
印刷/協和印刷